

アコモード

タイムズ 第57号



編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- デイサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクイール
- デイサービスセンター アクイール
- キッズルーム アクイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市高齢者福祉センターつつじ荘
- 我孫子市市佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市市佐1559-2

Tel.04 (7189) 5201・Fax.04 (7189) 5203

特養と老いについて思うこと



特別養護老人ホームの管理者として、「老い」をどのように捉えるべきかは、非常に重要なテーマです。老いは、単なる身体的な衰えや健康上の問題ではなく、その人の人生の一部であり、尊重すべき過程であると理解する必要があります。私自身ももうすぐ高齢者の仲間入りをする今、老いの捉え方と、それを特養の運営にどのように反映させるかについて日々自問自答しております。

老いは身体的、精神的、社会的な側面から成り立っています。身体的には、運動機能や感覚機能の衰え、慢性的な病気のリスクの増加などが伴いますが、精神的には経験に裏打ちされた知恵や洞察力が備わることもあります。また、社会的には、家族や友人との関係の変化、役割の喪失、孤立感の増大などが見られること言われています。このように、老いを単なる病や劣化と捉えるのではなく、個々の生活歴、価値観、思い出が反映される複雑なプロセスとして理解することが重要ではないでしょうか。

特養では、ご入居者一人ひとりの尊厳を重要視することが求められます。

す。そのためには、以下のポイントが挙げられるのではないのでしょうか。「個別ケアの実施」高齢者にとって、「自分らしさ」が保たれることが大切です。そのためには、各ご入居者の過去の生活スタイルや嗜好、価値観を理解し、それに基づいたケアを行うことが求められます。例えば、趣味や特技を活かしたプログラムを設けることで、自己肯定感を高めることができるはずです。また、職員はご入居者とのコミュニケーションを常に心がけるべきです。ご入居者の話に耳を傾け、不安や希望を理解することが、信頼関係を築き、ストレスを軽減する助けになります。また、積極的な対話を通じて、ご入居者が自分の意見を表現できる環境を整えることも重要です。

ご入居者が快適に過ごせるよう、バリアフリーの環境づくりや居住空間の工夫が求められます。家具の配置、照明、音響などに気を配り、生活しやすい空間を提供することで、精神的な安定にも寄与します。このようなことが老いがもたらす身体的な制約を補い、生活の質を向上させるはずです。

定期的な健康チェックやリハビリテーションを行い、身体的な健康を維持することも大切です。また、食事面でも栄養価の高い食事を提供し、食事を通じた社会的な交流を促すことが、ご入居者の生活の質を向上させる手助けとなるでしょう。

特養の運営には、多くのスタッフが関与しています。老いに対するそれぞれが理解を深め、敬意を持って接することができるよう、スタッフ教育は欠かせません。定期的な研修プログラムを通じて、老いに関する知識や最新のケア手法について学ぶ機会を提供していくと考えています。特に、高齢者の心理やコミュニケーション技法に関する研修は、スタッフの意識を高め、より良いケアを実現するために重要です。

若いスタッフがはじめすべてのスタッフがいずれ自分自身がたどる着く場面である事を改めて認識し忘れないたいものです。

終わりに、特養ははじめ高齢者施設を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、「老い」を正しく理解しご利用者の気持ちに寄り添ったサービスの提供をこれからも続けてまいりたいと改めて思います。

特別養護老人ホームアコモード

施設長 海老原 勤

◆アコモード特養◆

テクノロジー器具の導入で 安心した生活を

生産性向上推進

体制加算が新設されアコモードでも四月から算定されていたことに
なりました。新設された背景には、介護業界の人材不足が挙げられ深刻な問題になっています。要件は、テクノロジーの活用と業務改善を通じて、職員の負担軽減とサービスの質の向上が求められています。テクノロジー機器の導入としてインカム、介護記録ソフトウェア、見守り機器の導入をしました。インカムはイヤホンとマイクのついた通信機器を装着・利用することで、複数人で同時に会話できる機器になります。インカムを活用し職員間のコミュニケーションが円滑になり、ご利用者の依頼にも迅速に対応できるようになりました。介護記録ソフトウェアは、タブレットを使用し記録業務の減少や見守り機器との連携も行う事ができ、離れた場所でもご利用者の情報が分かるようになりました。見守り機器では、ご利用者のベッドからの起き上がりや、ベッドから離れた際の動きを感じ取るセンサーです。また心拍数、呼吸数も確認が出来ます。



これらのテクノロジー機器を活用していくことで、職員の負担を少しでも軽減でき、ご利用者の皆様がより安心して、心地よい生活が送れるよう、職員一同努めてまいります。

◆アコモード栄養課◆

海外から新しい仲間

昨年十月より、アコモードの厨房に三名の新しいメンバーが加わりました。ネパールからの留学生です。日中は大学に通い日本語を学び、夕方からアコモードで夕食後の食器洗浄や後片付けの仕事をしています。

十九歳のヤマフさんにインタビューをしました。

Q 日本に来て一番驚いたことは何ですか？
A 年配の方が働いていることにびっくりしました。ネパールでは、もっと若い時に仕事を辞めてしまいます。日本の人は健康なんだと思いました。

Q 日本の食べ物で美味しいものは？
A お寿司です。海老と玉子のお寿司が特に好きです。

Q 日本の好きなところは？
A 規則正しいところです。きちんとルールがあって住みやすいです。

Q アコモードの仕事はどうですか？
A とても好きです。皆さん優しく、仕事も分かりやすいです。

Q 将来の夢は？
A 日本語をもっと勉強して介護の仕事に就きたいです。高齢の方が好きなので、お役に立てるように頑張りたいです。

いつも笑顔で可愛いヤマフさんです。少しずつ日本語も上達しています。頑張る直向きな姿勢に私たちも刺激をもらっています！



◆アコモードデイサービス◆

アコモードデイサービスでは、はな膳への外食イベントを実施しました。普段は外食の機会が少ないという方も多く、また仲良しの方々と一緒に行くという事もあり、皆様とても喜んで下さっていました。デザートも付いて内容盛り沢山のセットが大人気でした。普段はあまり量を食べない方もペロリと召し上がった事に驚きました。自分で好きなメニューを選んだり皆様と出掛ける事は、ご利用者にとっても楽しい事だと再確認しました。

厨房さんのご協力の元、焼き芋や豚汁作りも行いました。焼き芋は、午前中よりテラスからとっても良い匂いが漂って来て、食欲を抑えるのに必死な職員でした。豚汁作りは、ご利用者様に野菜を切ってもらい、皆さんの楽しそうな表情を沢山見ることが出来ました。

ボランティアの方々にも来て頂いております。囲碁ボランティアの方との勝負では、接戦をされボランティアの方もご利用者も目に日に強くなり楽しまれております。音楽ボランティアでは、昭和歌謡曲を演奏して頂き皆様と一緒に歌い職員と踊りながらとても盛り上がり歌われております。これからも皆様に喜んで頂けるイベントを企画していきます。





◆アクイール特養 花の香りに誘われて

「次はいつお出かけできる？」

あるご入居者の職員との会話の中で出た言葉です。私達は年間通して様々な余暇・行事を実施していますが、一番喜ばれる企画はなんといっても外出行事！外食はもちろん皆さん好きですが、風を感じたり、鮮やかな景色や草花の香りなど、自然に触れることで五感が刺激されるということも、皆さんが喜ばれる理由のひとつだと思っています。

特養の各部署では、気候が穏やかな三月末から四月にかけて様々な場所にお花見に出かけました。

今年は桜の開花が去年より遅く、予定を変更することも。三月末には北柏ふるさと公園へ。ぽかぽか陽気のなか園内を散策すると菜の花やコブシの花を発見。桜は見られませんが「外の空気が気持ちよかった」と喜んでいただきました。

柏市布施にあるあけぼの山農業公園にもドライブ。他のお客様と挨拶を交す等、交流を楽しみながら色鮮やかなチューリップを観賞してきました。四月に入る頃には桜も満開に。五本松運動広場や川村女子学園の立派なソメイヨシノを堪能できました。



◆アクイールデイサービス◆

デイサービスセンターアクイールでは、季節ごとの伝統行事や季節を感じられる外出を実施しております。

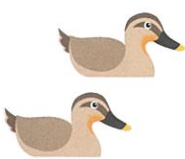
お正月はまた施設長がご利用者お一人ずつお屠蘇を持って新年のご挨拶をし、近くにある神社に初詣に行き健康祈願をしてきました。デイルームでは福笑い、かるた大会、箱根駅伝観戦をしながらゆっくり過ごされました。

二月には柏市布施にあるくらしの観光農園へイチゴ狩りにいきました。三十分の短い時間ではありましたが自分で収穫したイチゴを食べながらご家族との思い出を楽しそうにお話してくださいました。

桜の咲く頃にはお弁当を持って、あけぼの山公園や川村学園、高野山桃山公園へお花見に行きました。今年は雨の日が多かったですが小林牧場の桜トンネルを車内から楽しみました。

今後にご利用者の生活に彩りを加え、デイサービスが楽しみなれば良いと思っています。

また日々ご利用者一人一人に寄り添い、生活のなかでの困りごと（洗濯代行・買い物同行等）を支援させて頂いております。一層暮らしを豊にする様な取り組みを行っていきます。



◆アメリカ・アザレア・アバンセ◆

GWを満喫!

・今年のGWは最大十一連休と長いお休みでした。ケアホームで過ごされるご利用者から「どこかに出かけないの?」「何か作って食べないの?」と職員と会話をしていました。日頃外出や手作りご飯を作る機会が少ないので、この機会をご利用者に楽しんでお過ごしただけたらと思いいくつか企画を行いました。

GW始めは柏市にあるあけぼの山農業公園に出かけました。残念ながらチューリップは見頃を終えていましたが、気候も良く散策してきました。

ご利用者が一番楽しみにされている手作りご飯! 昨年はBBQを行いました。今年は手作りハンバーガーを作り昼食にいただきました。皆様ご自分の好みに合わせてハンバーガーに「ケチャップ」や「マヨネーズ」「ソース」で味付けをして美味しく頂きました。ご利用者から「美味しかった!」「お腹いっぱい!もう食べれない」等の声があり満足いただけ良かったです。

GWの最後は、湖北台中央公園で行われた鯉のぼりまつりに出かけました。晴天の中行われ様々な出店があり楽しむことが出来ました。ご利用者に少しではありますが、GWを満喫していただくことができました。



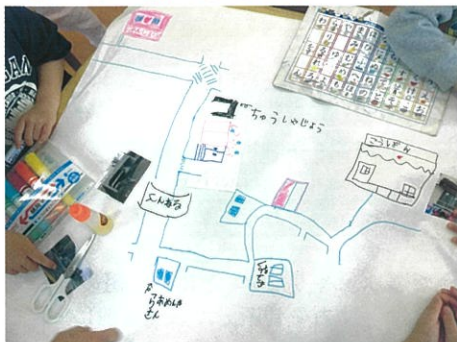
◆アンダンテ◆

五月三十一日、夜間に火災が発生した想定で避難訓練を実施しました。

まずは、職員による通報訓練から行いました。実際に119番に電話をかけ、消防署との訓練を経験しました。その後、館内放送にて「火事です、職員の指示に従ってください」の合図と共に、ご利用者の安全を確保しながら駐車場まで誘導を行いました。誘導後水消火器の訓練を行い、職員と共に、ご利用者にも体験して頂きました。火にみたてた段ボールをめぐって、上手に水を飛ばすことが出来たご利用者もおられました。ご利用者に怪我もなく無事に訓練を終えることが出来ました。

実際に火災が起きた時には、気が動転して訓練のように行かないかもしれません。訓練で経験を活かせるよう、ご利用者の安全をこころがけ、火災に対する意識づけを行いながら業務に携わっていきたいと思います。





◆アンジェリカ保育園◆

プロジェクト保育とは子どもたちの興味や関心に基づき、遊びや体験を通じて学びを深めていく保育方法です。

テーマを設定し、子どもたちが主体的に探究や活動を広げていくことで協調性や創造性を育むことを目指します。

アンジェリカ保育園も子どもたちの「好き」「なんだろう」「やってみよう」を大切にしています。先日も「保育園に泥棒がきたときどうするの?」子どもたちの声から話し合い。「すぐにお巡りさんにしらせたいほうがいい」「それなら交番の場所を知ってないとダメだよ」「みんなが分かるように地図を作ろう」と、実際に交番まで歩き地図を作りました。

子どもたちなりに一生懸命に考え、問題に挑戦していく。こんな小さな子ども達だけど、とても大きな力を持っています。この経験が、また次への興味・関心につながっていきます。



作成会で作るものは、職員同士で話し合い自宅に飾って楽しむことができ、季節を感じ味わえるものや、生活の役に立つものを企画しています。自作する達成感は脳活性にも有効とされています。今年度は利用者の皆様からもご提案をいただきながら作成会を継続していきます。ご興味のある方は見学のみでも結構です。お気軽にお声掛けください。



◆つつじ荘◆

令和七年四月一日から名称、開館時間などを変更し運営しています。名称は「高齢者福祉センターつつじ荘」、開館時間は九時三十分です。平日の入浴時間は一時間延長となり今までよりゆっくり過ごしていただけるようになりました。

つつじ荘での自主事業は、「作成会」を昨年度から実施しています。作ったものは、シュロの葉を再利用した「ハエ叩き」、ペットボトルなどの蓋開けに便利な「キーホルダー」や、敷地内で育てたラベンダーを乾燥させて「ポプリ」、他にも「正月飾り」や「雛飾り」を作りました。



老いじたくあんしん相談会

遺言・相続・認知症対策・死後事務・ライフプランなど、今後の生活上の心配ごとや悩みごとを対面でご相談できます。

相談員：老いじたく相談 伊藤 FP 事務所 伊藤弘之氏、他

開催場所	開催日
ふらりえ（新木野）	5/26
香妻台自治会館	6/30
布佐南近隣センター	7/28・12/22
ふさの風近隣センター	10/27・2/16
新木近隣センター	11/17・3/30
新木野自治会館（しらさぎ）	1/26
時間：14：00～17：00（一人1時間の相談時間）	
費用：無料（各日先着3名）	

申し込み先・問い合わせ

我孫子市布佐・新木地区高齢者なんでも相談室

電話：04-7189-0294

共催：布佐地区社会福祉協議会

協力：新木田地自治会・あらき野自治会・香妻台自治会



高齢者なんでも相談室 あんしん老いじたく

『終活』や『老いじたく』という言葉を知っていますか？

『終活』は人生の終わりに備えて行う準備、『老いじたく』は余生をより良く、自分らしい人生を送るための準備と言われており、どちらも自分らしくより良い人生を送るため、人生の最終段階を意識して行う準備と言えます。

老後はまだ先と考えている方でも、老後の不安が全くないという方は少ないのではないのでしょうか。

高齢期は、これまで獲得してきた様々なことや物を、それぞれのタイミングで手放していく時期になります。

住む場所や食べたい物、好きな物を自分で選ぶ、やりたいことに取り組める。そんな当たり前に感じていることを継続していくには、体力や判断力が衰える前に今までの人生を整理し、自分が人生の終わりを迎えた後、家族が大変な思いをしないように準備をすることも大切です。

自分のこと、家族のことを考えることができる元気なうちに『老いじたく』を始め、自分らしい人生を送っていきましょう。

布佐・新木地区高齢者なんでも相談室では、定期的に老いじたくあんしん相談会を開催しております。予約制ですので、参加ご希望の場合はご連絡ください。

障害者 まちかど相談室

平成二十四年四月から法制化された組織で、地域の支援者、障害者ご本人やご家族などの関係者が集まり、地域の福祉課題を共有して福祉の向上を期するものです。近年は徐々に自立支援協議会の役割等も強化されてきている傾向があります。

我孫子市では、法制化前から独自で福祉施設、就労系事業所、グループホーム、相談支援事業所などの連絡会等の組織があったのでそれらも自立支援協議会の仕組みの中に組み入れながら運営されています。我孫子市自立支援協議会は権利擁護部会・就労支援部会・相談支援部会の部会がありましたが、グループホームの増加や暮らし方のニーズの多様化に伴い障害者の住まいや暮らしを考えていく必要があることから「くらし部会」が創設されました。自立支援協議会の活動に注目しながら障害があってもなくても安心して暮らせる我孫子市であり続けるように協力していきたいと考えています。

まちかど相談室では障害に関する相談を幅広く受け付けています。ちょっとしたことで遠慮なくご相談ください。

出産報告



川田 有希さん（アキール特養）
令和7年3月17日生 第二子
弥希（みつき）くん



石橋 楓さん（アンジェリカ保育園）
令和7年4月9日生 第一子
悠乃（ゆの）ちゃん



藤波 真由子さん（アコモード特養）
令和7年3月14日生 第一子
楓（かえで）ちゃん

編集後記

普通では聞いたことのない、六月中に梅雨前線が消えてしまうという出来事と、そのあまりに強い太平洋高気圧に恐怖を覚えた方も多いと思います。暑くなるとエアコン等を使って涼しく過ごしたいのですが、電気代が気になってしまふと思いますが、十年前のエアコンと現在のエアコンを比べると電気効率で十五％改善していると言われています。私たち職員もご利用者の皆様の笑顔を守ってゆけるように体調変化に気を付けて参ります。元気に安心して過ごせる環境の実現を目指します。

広報委員

資格取得報告

令和七年

〈介護福祉士〉

入江 あずささん

（アコモード特養）

夏井坂 若奈さん

（アコモード特養）

石川 幸央さん

（アコモード特養）